

2021年12月17日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ  
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行

## カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合への出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規<sup>かめざわ ひろのり</sup>、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一<sup>はんざわ じゅんいち</sup>、以下 当行）は、本日、再生可能エネルギー（以下 再エネ）発電事業に投資するファンドである「カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合」（以下 本ファンド）にリミテッド・パートナーとしての出資（以下 本出資）を決定いたしました。

### 1. 本出資の背景

MUFG は、2021 年 5 月に「MUFG カーボンニュートラル宣言<sup>[1]</sup>」を発表し、お客さまの脱炭素化に向けた取り組みやイノベーション技術への支援に積極的に取り組んでいます。また、2021 年 9 月には、本ファンドの運営会社である Z エナジー株式会社を MUFG のパートナー企業と共に設立<sup>[2]</sup>しております。本出資は、Z エナジー株式会社が運営する第 1 号ファンドであり、上記の取り組みの実現に向けた第一歩となります。

MUFG は、本ファンドを通じたインパクト投資の実践も企図しており、GSG 国内諮問委員会<sup>[3]</sup>の「インパクト測定・マネジメントに係る指針」に沿った投資戦略、組成・ストラクチャリング、及びモニタリング・エンゲージメント体制の構築を Z エナジー株式会社と共に進めてまいりました。その結果、Z エナジー株式会社によるインパクトファイナンスは、環境省の「令和 3 年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業」に係るモデル事例<sup>[4]</sup>として選定されました。

MUFG は、今後も本ファンドを通じ、再エネ電力を「つくる」から「つかう」までを一気通貫で行い、再エネの普及を促進し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指してまいります。

### 2. 本ファンドの概要

名称（英文名）	カーボンニュートラルファンド1号投資事業有限責任組合 (Carbon Neutral Fund 1 Investment Limited Partnership)
設立日	2021年12月
運営会社（GP）	Zエナジー株式会社
投資対象	日本国内においてFIT制度の適用を受ける再エネ発電事業
投資形態	匿名組合出資持分への投資
存続期間	原則25年間
弊行投資金額	50億円

[1] 2021 年 5 月 17 日付プレスリリース：[MUFG カーボンニュートラル宣言について](#)

[2] 2021 年 9 月 1 日付プレスリリース：[再生可能エネルギーファンド創設に向けた会社設立について](#)

[3] GSG（The Global Steering Group for Impact Investment）は、世界33か国の加盟国や地域が参加し、金融機関、行政・国際組織、事業者などと連携しながら、インパクト投資を推進するグローバルネットワーク。GSG国内諮問委員会は、日本における支部として2014年に設立。

[4] 環境省URL：[令和3年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業に係るモデル事例の選定について](#)

以 上